

授業科目名	体力科学特殊研究【TSC】		授業形態	講義	授業科目区分	専門科目 (スポーツ生命科学)
担当教員名	田巻 弘之・荻田 太・與谷 謙吾				補助担当者名	
単位数	2 単位		履修年次	—	受け入れ人数	—
授業の概要 及び達成目標	本科目では、身体活動による生体応答メカニズムに準拠した体力・健康の増進の学識と研究能力を養うため、筋骨格系や神経系、呼吸循環器系などが運動実践で円滑に協調的に働くしくみを学ぶ。また行動体力に関する身体機能の応答をテーマに国内外の先行研究について抄読、議論する。本授業により、行動体力の各要素を類別し、運動の効果について議論することができる。					
成績評価の方法	☐ 学期末試験の成績（％） ☒ 授業への取り組み状況（100％） ☐ レポート等の提出状況（％） を総合的に評価する。					
成績評価の基準	論文の抄読・プレゼンテーションの内容、他者のプレゼンテーションに対する積極的な関わり、自身の研究テーマについての理解等から総合的に評価する。					
テキスト、教材 参 考 書	必要に応じて適宜配布する。					
履修条件・ 関連科目	解剖生理学、運動生理学、バイオメカニクスの基礎知識を備えていること。			備考(教員メッセージ含む)	履修に関しては、事前に相談のこと。	
オフィス・アワー	荻田：原則月曜日の午後とするが、あらかじめメールで連絡をしてもらえれば随時対応。 研究棟3階 303研究室 (ogita@nifs-k.ac.jp) 與谷：随時（事前にメールで連絡を頂ければ有難いです）研究棟3階 306研究室 yotani@nifs-k.ac.jp 田巻：随時（事前にメールで連絡を頂ければ有難いです）研究棟3階 305研究室 tamaki@nifs-k.ac.jp					
授業計画						
回	担当教員名	授業内容			授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)	
1	荻田 太	オリエンテーション：今後の授業に関する説明			次回の予定確認と英語論文を整理し、発表資料を作成する（2時間）	
2	〃	体力科学に関する文献紹介（抄読・プレゼンテーション）			英語論文を整理し、発表資料を作成する（2時間）	
3	〃	体力科学に関する文献紹介（抄読・プレゼンテーション）			英語論文を整理し、発表資料を作成する（2時間）	
4	〃	体力科学に関する文献紹介（抄読・プレゼンテーション）			英語論文を整理し、発表資料を作成する（2時間）	
5	〃	体力科学に関する文献紹介（抄読・プレゼンテーション）			英語論文を整理し、発表資料を作成する（2時間）	
6	田巻 弘之	オリエンテーション、体力の定義と構成要素、PubMed、EndNoteの使い方			授業内容に関連する文献をPubMed等で調べて精読する。またPubMed及びEndNoteの使い方について復習する。（2時間）	
7	〃	筋力：骨格筋の収縮と筋力・筋パワーの加齢変化			授業内容に関連する文献をPubMed等で調べて精読し、EndNote等にデータベース化する。（2時間）	
8	〃	筋持久力：運動持続に伴う筋細胞におけるイオン動態と運動効果の現れ方			授業内容に関連する文献をPubMed等で調べて精読し、EndNote等にデータベース化する。（2時間）	
9	〃	低体力における筋萎縮と骨量低下、骨脆弱化			授業内容に関連する文献をPubMed等で調べて精読し、EndNote等にデータベース化する。（2時間）	
10	〃	不動性の筋骨格系の萎縮に対する運動・物理療法の効果の現れ方			授業内容に関連する文献をPubMed等で調べて精読し、EndNote等にデータベース化する。（2時間）	
11	與谷 謙吾	敏捷性に関するパフォーマンス評価と経年変化			授業内容に関連する文献をPubMed等で調べて精読し、EndNote等にデータベース化する。（2時間）	
12	〃	敏捷性：反応時間評価と注意点			授業内容に関連する文献をPubMed等で調べて精読し、EndNote等にデータベース化する。（2時間）	
13	〃	敏捷性：筋力トレーニングに伴う反応時間の変化			授業内容に関連する文献をPubMed等で調べて精読し、EndNote等にデータベース化する。（2時間）	
14	〃	敏捷性：視知覚トレーニングに伴う反応時間の変化			授業内容に関連する文献をPubMed等で調べて精読し、EndNote等にデータベース化する。（2時間）	
15	〃	敏捷性：反応時間の変化に伴う転移効果			これまでの資料を整理し、まとめる（1時間）	